



GX（脱炭素電源法案）の審議がはじまりました

1. 5/16 経済産業委員会で質問しました

質問事項	質問内容	答弁大臣名	大臣答弁
東ね法案	・脱炭素電源法案は、なぜ5本の法律をまとめて審議（東ね法案）するのか。	西村 経済産業大臣	・再エネ、原子力、脱炭素電源の活用という共通の目的があり、法制局で整理した上で東ね法案とした。
電力需給について	・東京電力管内の電力需給の見通しが厳しい理由とは。	松山 政府参考人	・火力発電所の休止による供給力減少状況が続いており、原発の再稼働が進んでいないから。
不採算火力発電所について	・不採算の火力発電所の休廃止が、電力需給のひっ迫につながっているのではないか。	松山 政府参考人	・再エネの導入拡大が進んでも、バックアップの火力発電所は必要である。 ・再エネの導入が進む程、火力発電所の休廃止が進んでいる。解決策としては、火力発電所の休廃止は、事前許可制とする。火力発電所を保有する発電事業者と小売事業者をマッチングする、「容量市場」という制度を24年から運用開始予定。

2. 5/30 経済産業委員会で質問しました

質問事項	質問内容	答弁大臣名	大臣答弁
特別高圧契約者への支援の進捗について	・今年3月に、電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援地方交付金において、特別高圧への支援が推奨メニューに入ったことを評価する。 ・支援を行う地方自治体からは、制度設計が分からないという声がある。国は地方自治体と連携しているのか。国が、直接支援すべきではないか。	西村 経済産業大臣	・特別高圧で受電する、中小企業や工業団地の皆さんの負担緩和支援を地方自治体に提示した。 ・全都道府県で、特別高圧利用者への支援を検討中である。
原発再稼働	・原発再稼働による、家庭や産業へのメリットは何か。	小澤 政府参考人	・電気料金の抑制につながる。原発が再稼働している、関西電力や九州電力では、電気料金の値上げ申請を行っていない。
廃炉を担う人材について	・原発の安全を担う技術は、高度な技術が求められる。この10年間、原子力政策の不透明さがあり、企業として投資が出来なかった。 ・廃炉を担う人材が不足している。	西村 経済産業大臣	・24基廃炉が現時点で決定しており、廃炉を支える人材確保が必要である。 ・産業界への技術、人材の育成支援をしている。